

【Strong Culture】

～基本は技術～

会社説明会

2018年6月期 決算



1. 2018年6月期決算概要
2. 2019年6月期の見通し
3. 経営計画(中長期成長戦略)
4. 主要事業の紹介
5. 参考資料

本資料並びに本説明会の説明は、当社グループの現在の計画、戦略等のうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく仮定や判断に基づいてるため、将来における当社の業績や事業活動とは異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ：株式会社FCホールディングス 経営企画室

092-412-8300 ir@fchd.jp <http://fchd.jp>

1.(1)2018年6月期決算概要 ①連結損益計算書【3期連続最高益更新】

	2017.6月期	2018.6月期	対前年同期	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
受注高	10,742	11,066	323	3.0%
生産高(出来高)	7,508	7,597	89	1.2%
売上高	6,857	6,706	△150	△2.2%
営業利益	715	745	29	4.1%
経常利益	714	748	33	4.7%
当期純利益	436	510	74	17.0%

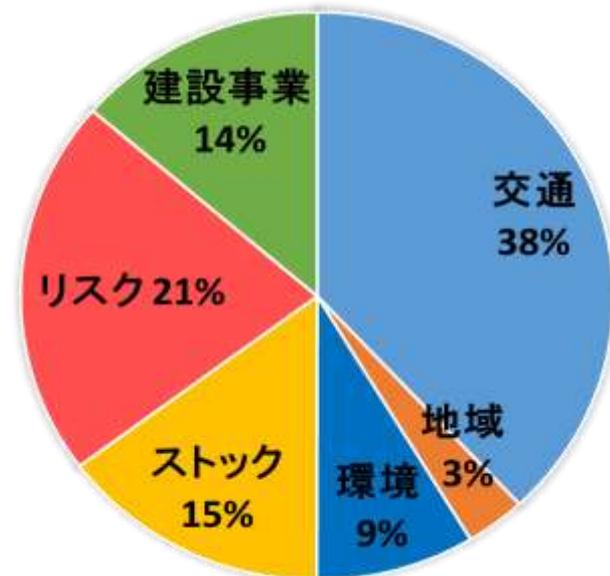
※単位未満端数切捨て

1.(1)2018年6月期決算概要 ②分野別受注実績

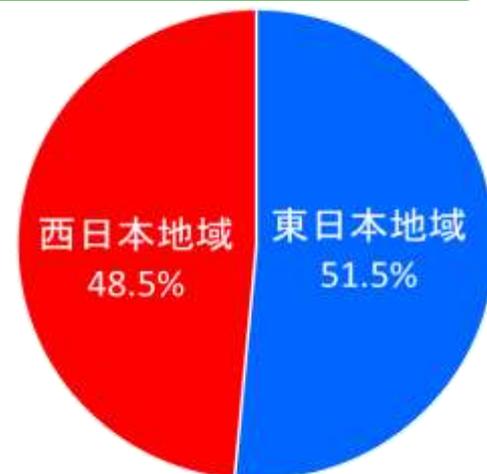
	2017.6月期 (百万円)	2018.6月期 (百万円)	対前年同期 (百万円)
交通マネジメント	3,944	4,211	266
地域マネジメント	321	364	42
環境マネジメント	912	960	47
ストックマネジメント	1,756	1,636	△120
リスクマネジメント	2,266	2,381	114
建設事業マネジメント	1,540	1,514	△27
合計	10,742	11,066	323

※単位未満端数切捨て

事業分野別構成比



事業地域別構成比



1.(2)決算実績推移(3期比較)

【利益率の継続的上昇】

受注高/生産高(出来高)

■ : 受注高
■ : 生産高(出来高)



売上高



経常利益



当期純利益



2.(1)2019年6月期 ①業績見通し【公共投資予算前年度水準→前期期首計画同等計画】

損益計算計画

分野別売上計画

	2018.6月期 期首予想	2018.6月期 実績(①) (百万円)	2019.6月期 予想(②) (百万円)	増減 (②-①) (百万円)
受注高	-	11,066	-	→
生産高 (出来高)	-	7,597	-	→
売上高	6,900	6,706	7,000	293
営業利益	550	745	550	△195
経常利益	550	748	550	△198
当期純利益	300	510	300	△210
配当(円/株)	20	25	20	△5

	2018.6期 実績 (百万円)	2019.6月期 予想 (百万円)	増減 (百万円)
交通マネジメント	2,576	2,650	73
地域マネジメント	287	300	12
環境マネジメント	587	750	162
ストックマネジメント	1,055	1,100	44
リスクマネジメント	1,508	1,600	91
建設事業マネジメント	690	600	△90
合計	6,706	7,000	293

前期期首計画値に同じ

●直近受注高 6,008百万円(8月末)

2.(2)2019年6月期 ②株式関連施策 【配当金額・流動性・株主対話】

配当(最重点施策)

◆公約配当+業績加算

・実績: 期首20円+業績加算5円

◆株主優待(1000株以上でクオカードの優待)

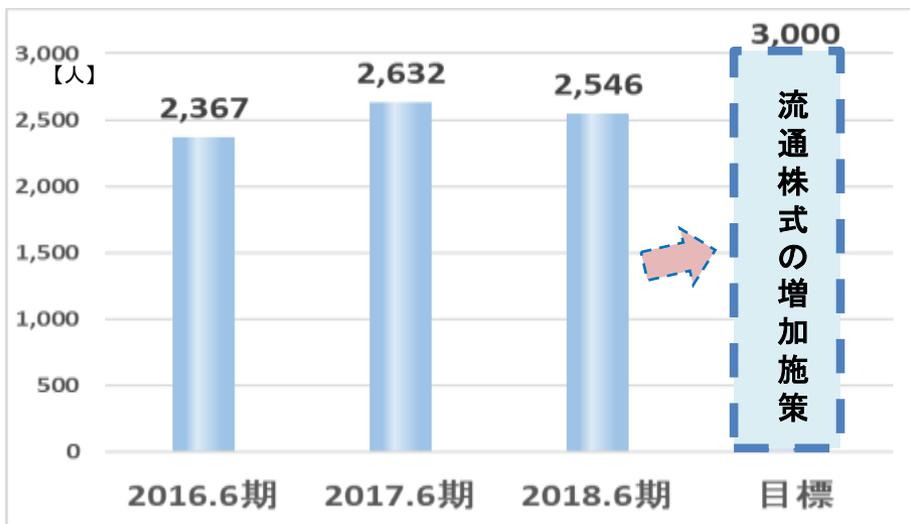
・3千円(3年未満)、5千円(3年以上の継続保有)

株主対話・広報

◆IR説明会+株主対話

◆開発技術情報の積極開示

株主数



配当



値付け率/売買高



2.(3) 2018年6月期 ③その他財務指標と投資計画 【成長への積極投資】

ROE/ROA

● : ROE
● : ROA



PBR

1.0倍以上



営業CF

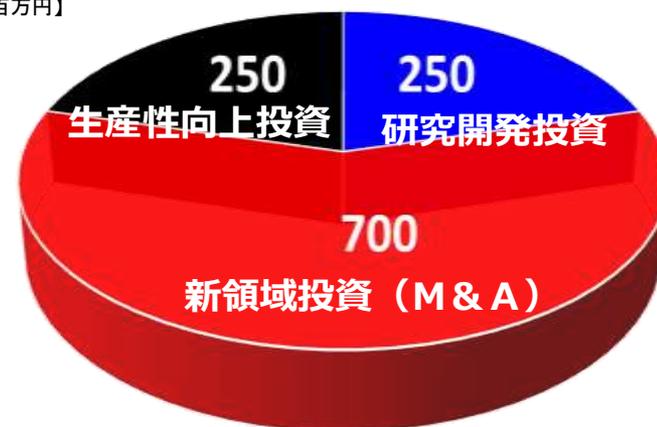
＜投資予算



投資計画

【百万円】

投資
予算
12億円
(負債の活用)

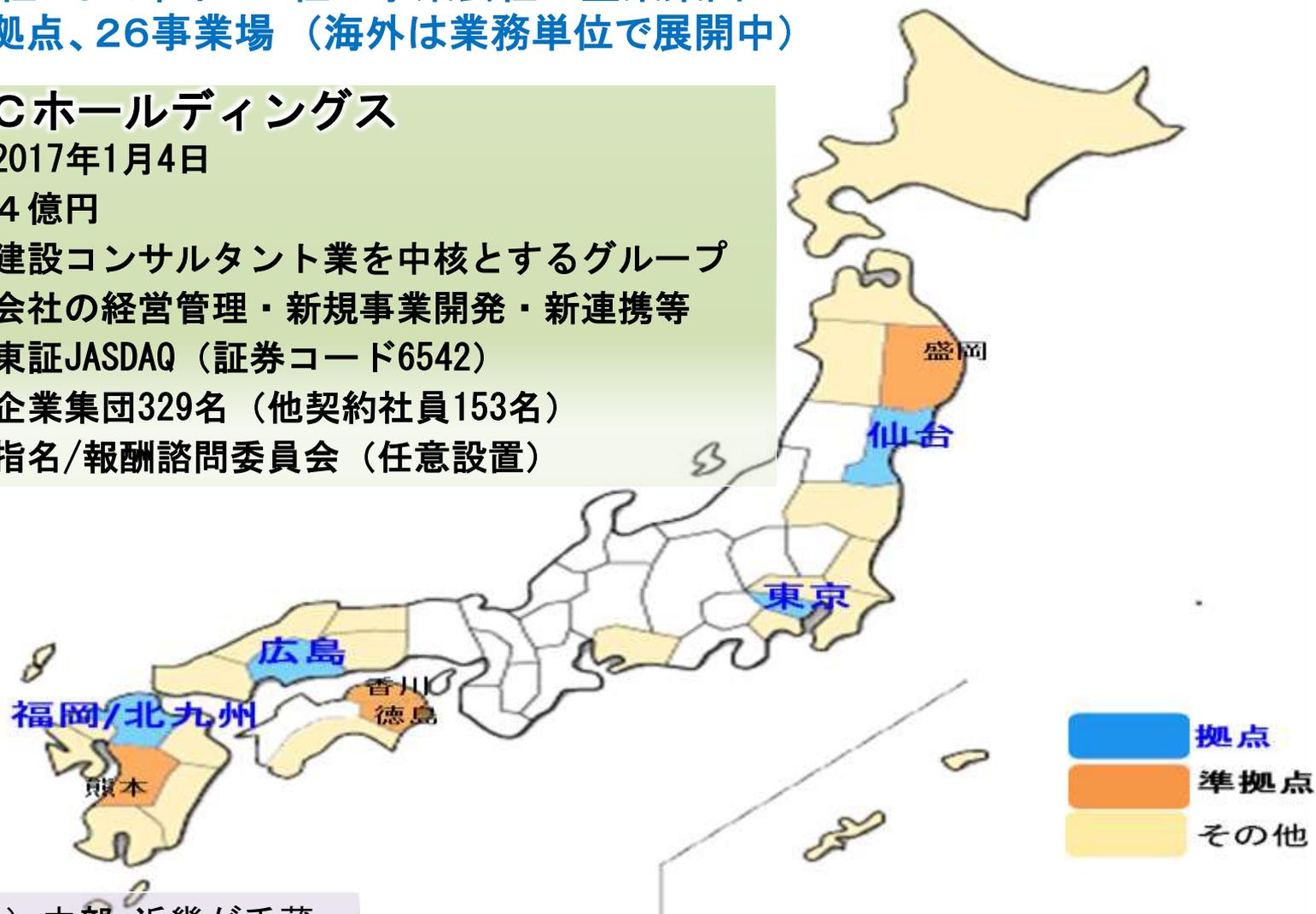


3. (1) 経営計画: ①編制 Founder's Consultants Holdings Inc. (新しい価値を創造する専門家集団)

- 純粋持株会社として傘下に5社の事業会社の企業集団
- 国内主要5拠点、26事業場 (海外は業務単位で展開中)

株式会社 FCホールディングス

- ◇ 設立 : 2017年1月4日
- ◇ 資本金 : 4億円
- ◇ 事業内容 : 建設コンサルタント業を中核とするグループ会社の経営管理・新規事業開発・新連携等
- ◇ 上場市場 : 東証JASDAQ (証券コード6542)
- ◇ 使用人数 : 企業集団329名 (他契約社員153名)
- ◇ 委員会 : 指名/報酬諮問委員会 (任意設置)

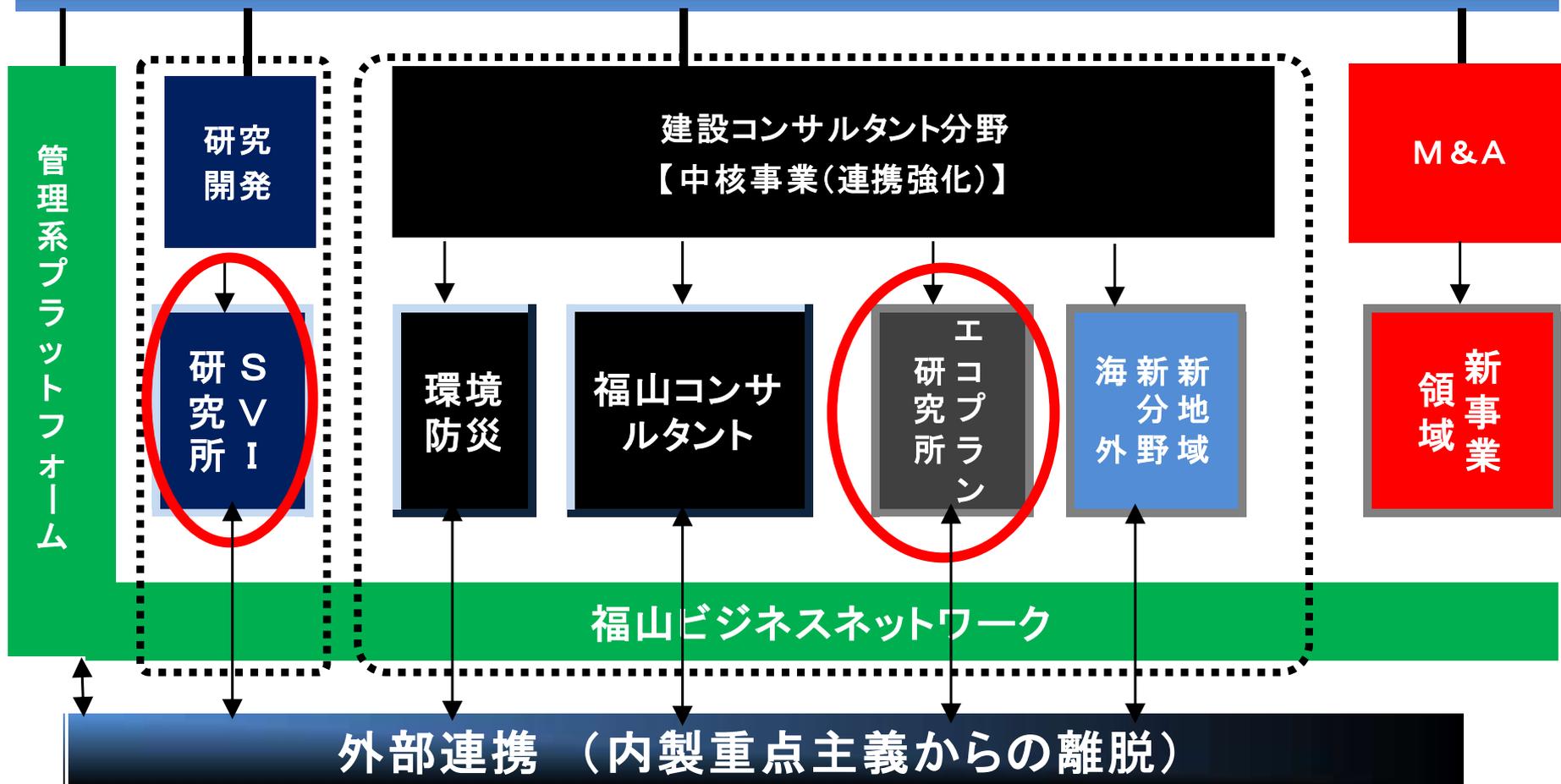


日本海軸(北陸)・中部・近畿が手薄

3. (1) 企業集団: Founder's Consultants Holdings Inc. (新しい価値を創造する専門家集団)

(株)FCホールディングス 【創造的経験の連環】

新ビジネスモデルの構築 (マルチコア戦略)



3. (1) 企業集団: Founder's Consultants Holdings Inc. (事業会社の設立と新たな連携)

SVI研究所の取り組み



- 社会変革対応案件の研究
- 事業化案件の開発: 年4件

事業会社の技術と最新テクノロジーを「新結合」



株式会社エコプラン研究所
北九州市若松区高須西1-14-13

➤ 自然環境調査

環境調査の計画から実施、報告書作成までの一貫した業務

➤ 環境コンサルティング

各種開発事業の環境影響評価、環境管理計画などの業務

➤ 環境設計 (エコロジカルデザイン)

トンボの池づくりやホテルの棲む川作りの検討や各種の野生動植物の保全や復元業務

➤ 環境学習

水辺の教室・自然観察会及び総合学習の企画運営



- 低炭素型社会実現を促進するまちづくり
地域の情報・活動のデザインを通してまちづくりに貢献

■ 事業化案件 (短期) のテーマ

- ① 位置情報等ビッグデータを活用した新たな都市・地域マネジメントの開発
- ② 各種センサ等のIoT技術を活用したモニタリングシステムと分析・可視化オープンプラットフォームの開発

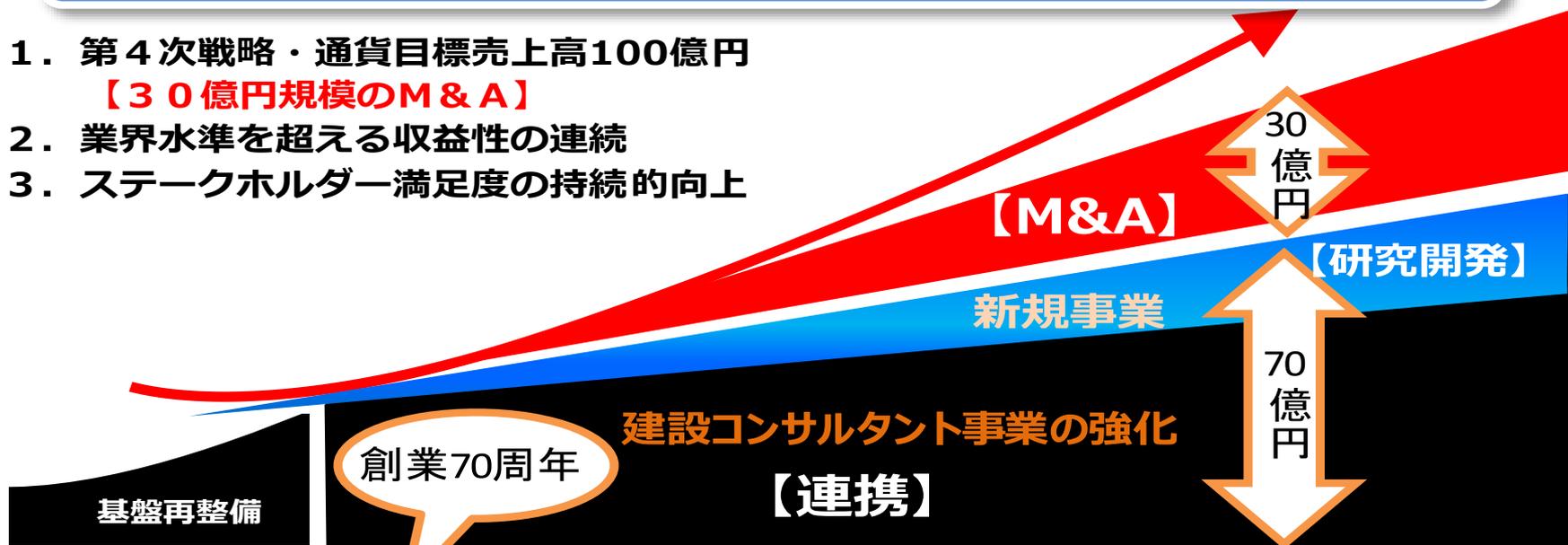
3. (2) 売上高100億円超へ向けた加速

【研究開発・連携・M&A】

Strong Culture

”基本は技術”

1. 第4次戦略・通貨目標売上高100億円
【30億円規模のM&A】
2. 業界水準を超える収益性の連続
3. ステークホルダー満足度の持続的向上



年次	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
経営計画	第3次計画最終年 基盤整備完了	加速	第4次計画 (市場変更も視野に) 持続的進化 (拡張)				第5次計画 再編成		
キーワード	IoT、ビッグ&オープンデータ、ブロックチェーン、AI、ロボット、自動走行、 新エネルギー、i-con、PPP/PFI、働き方改革、高齢化社会、etc 企業の社会的責任行動の継続・強化 【技術で社会の役にたち続ける】								

創造的経験・破壊・結合

共創的進化

3. (3) 職場環境整備

株式会社 福山コンサルタント 中四国支社 社屋建設

○所在地/広島市東区光町2丁目

(JR広島駅から徒歩約10分)

○2019年9月完成予定



株式会社 環境防災 社屋・設備更新

◆材料試験室の整備

⇒分散する試験室の統合・新築

①鋼材試験 ②コンクリート試験 ③土質試験

◆測定・分析機器の導入

⇒水質分析機器の導入

①水道法水質検査機関登録の準備

→ポストカラム分析機器導入済

→2019年1月の検査機関登録申請

⇒材料試験機の更新

→50mm径の鋼材試験が可能

※四国エリアで最大の測定範囲確保



ポストカラム分析機器



材料試験機

中核事業 — 建設コンサルタント事業 (得意とする6分野) —

交通マネジメント

交通調査・解析、交通計画、道路計画など



地域マネジメント

地域計画、都市計画、都市施設計画など



環境マネジメント

環境調査、環境影響予測など



リスクマネジメント

多様なリスクの予測・評価、対策の検討など



ストックマネジメント

道路設計、道路附属構造物設計など



建設事業マネジメント

建設プロジェクトの総合的マネジメント

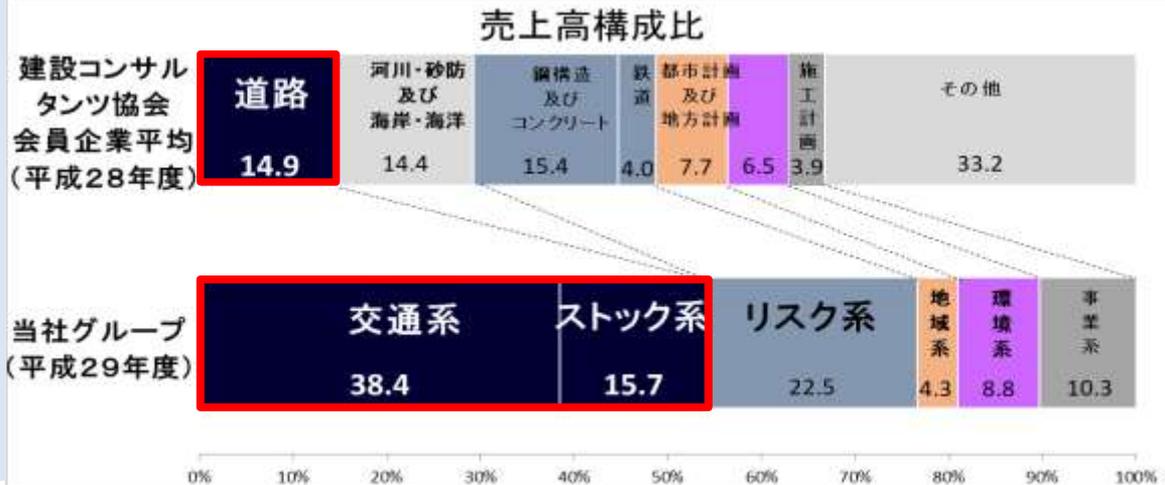


4. (1) 中核事業と技術力 【道路・交通・鉄道・インフラ老朽化】

道路・交通部門のコンサルティングに強み

●道路分野売上高業界6位
(交通系+ストック系)

●鉄道分野・インフラ老朽化対策分野の拡大
(リスク系)



(出典:平成30年度建設コンサルタント白書)

技術力の維持・継続的向上

資格、評価		年度			
		H26	H27	H28	H29
資格	工学博士 (人)	12	13	11	11
	技術士 (人)	192	193	194	196
評価	業務評定点	77.6	78.2	78.4	78.7
	業務表彰 (件)	7	18	16	15

※数値は福山コンサルタント単独
業務表彰は国土交通省からの受賞件数で(株)環境防災含む

最先端の技術開発・知財戦略

特許取得件数(登録年度別)

登録年度	H25以前	H26	H27	H28	H29	出願中
件数	5	1	0	2	1	3



4. (2) 事業紹介 ① モニタリング新技術の拡大・海外展開

◆ 内閣府が中心となって、府省の枠や旧来の分野の枠を超えて進めている、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」に参画しています。

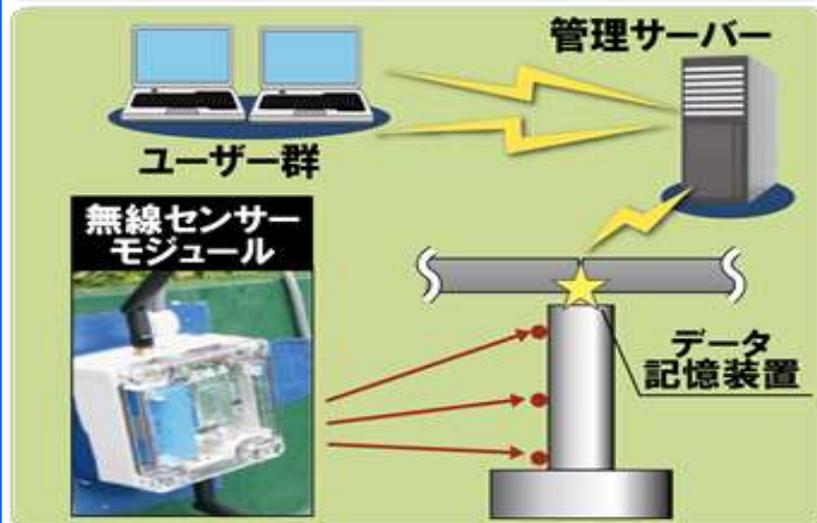
基礎研究～実用化・事業化の取り組み

- ・床版余寿命評価の実務展開⇒**論文6編発表**（東大・法政大・金沢工大・日大と共同研究）
- ・下部工基礎の洗掘モニタリング技術の開発

新技術の海外展開

- ・ASEANを対象とした新技術のニーズ分析
- ・政府主催の海外セミナーにおける新技術講演

無線センサを用いた下部工基礎の洗掘モニタリング



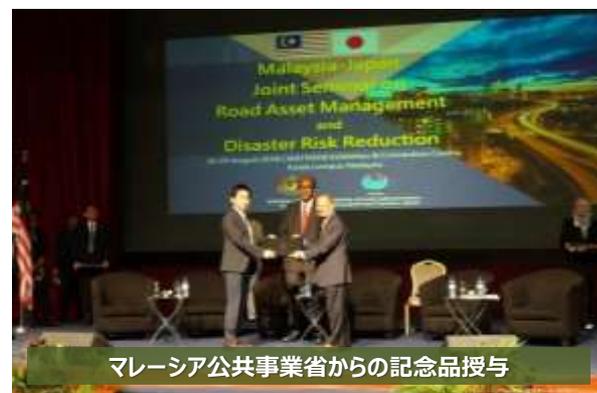
- ・橋脚の固有振動数から下部工の洗掘状況を把握
- ・固有振動数はインターネットを通じて遠隔で把握
- ⇒ **安全・正確**に洪水時における基礎の安全を確認



インフラ関連中小企業向けタイビジネスマッチングセミナー



マレーシア道路維持管理・防災技術セミナーでの講演



マレーシア公共事業省からの記念品授与

4. (2) 事業紹介 ②「i-都市再生」のツール開発・普及メンバーに参画

i-都市計画とは

- ◆内閣府都市再生本部では**都市再生の見える化情報基盤「i-都市再生」の構築、活用、普及等**に取組むことを決定（2018.4.26）
- ◆「骨太方針2018」、「まち、ひと、しごと創生基本方針2018」においても重要な情報基盤と定義

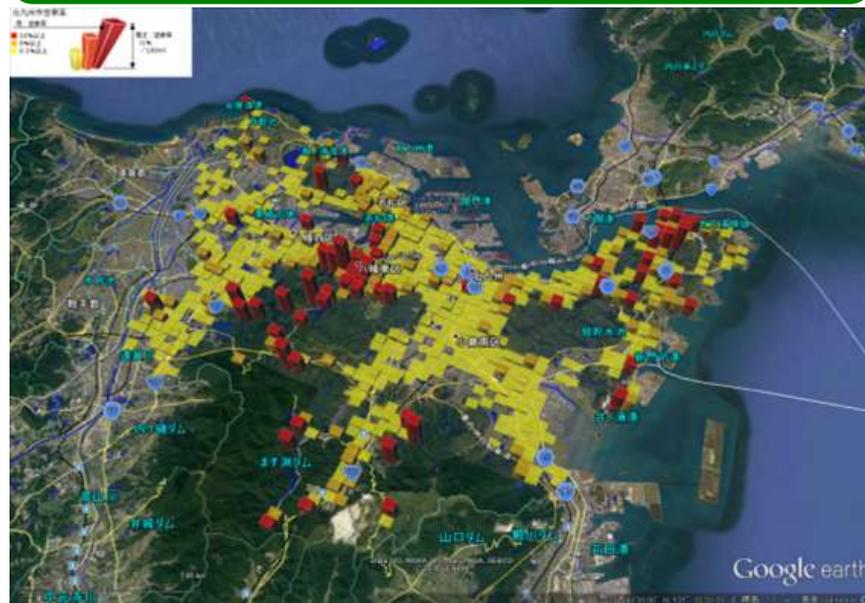
当社グループの取組み

- ◆弊社は（公社）日本都市計画学会都市構造評価特別委員会に参画し、「都市構造可視化計画（<https://mieruka.city>）」の構築、普及等に貢献

i-都市再生 自治体等交流会議（H30.8）



受注業務での都市構造可視化計画 活用例（北九州市の空き家分布）



i-都市再生の今後の展開

- ◆先行活用都市での「協議プロセスの迅速化」、「部局を超えた政策課題検討の円滑化」等の**好事例の報告多数**
- ◆自治体のコスト負担なく**ベースデータ（地形図・航空写真）の更新**がなされ**小規模自治体でも政策課題検討が加速**

4. (2) 事業紹介 ③位置情報等ビッグデータを活用した開発(異業種連携)

「ビッグデータを活用したテレワーク・デイズ2018の効果測定に関する請負」業務受注

- ◆2020年東京オリンピック・パラリンピック期間中に想定される混雑緩和に向け、テレワーク・デイズ実施期間中の効果を定量的に検証

KDDI (株)

+

(株)コロプラ

+

(株)FCC

H30渋谷駅周辺における整備効果 検討業務 (国) 東京国道事務所

- ◆2020年に向けて再開発計画の進められている渋谷駅周辺地域の歩行者流動を計測し、整備効果を検討する業務

(株)FCC : 受注者

W社

Wi fiによる流動把握

G社

画像解析技術

ICT・AIを活用した観光渋滞対策実証 実験の技術公募に選定

- ◆スマートフォンユーザーの位置情報ビッグデータと画像解析型センサーの組合せによって人の動きを面的に把握・集約する技術

(株)FCC : 分析担当

K社

位置情報ビッグデータ

G社

画像解析技術

位置情報ビッグデータを活用した新しい都市・地域マネジメント事業に関する連携

4. (2) 事業紹介 ④ データ利活用型スマートシティ推進事業(総務省)への参画

データ利活用型スマートシティ推進事業とは

◆ 都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせる街づくりを目的として、**複数分野のデータを収集し分析等を行う基盤(プラットフォーム)を整備**するとともに、ベンチャー企業などの多様な主体が参画するための体制整備等を行う事業。

高松市スマートシティオープンプラットフォーム

高松市ダッシュボード

共通プラットフォーム



分析状況

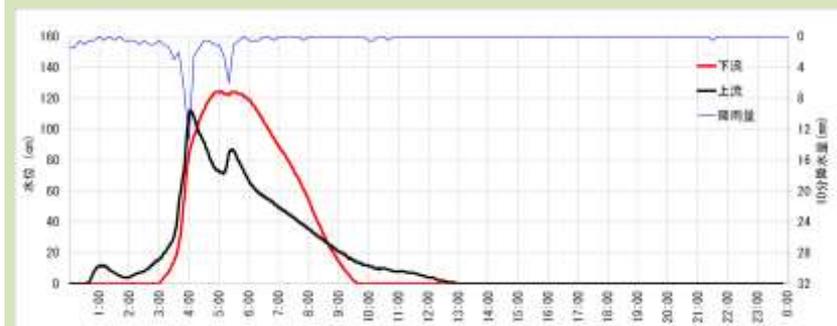


出発地・目的地・移動経路の可視化



滞在時間の可視化

自転車GPSロガー分析イメージ



水位計の計測イメージ

- ① 自転車の利用分析から
観光・地域活性化の展開
- ② 水位計測から水位AI予測システムの構築

4. (2) 事業紹介 ⑤ 環境分野の新展開

G I への取組

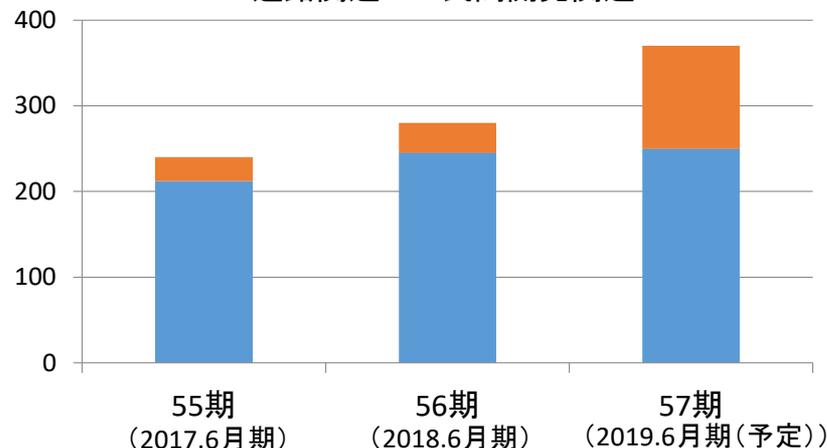
2017/11/28 全国初 GI官民包括
連携協定(茨城県守谷市とFCC)

- ◆ 茨城県守谷市と福山コンサルタントとのG Iに関する全国初の取り組み



道路関連(官)に加え施設整備関連(民)へ拡大

◆ 株式会社 福山コンサルタントの売上高実績
(単位:百万円) ■ 道路関連 ■ 民間開発関連



パイロットプロジェクト ホップ/ビールを活用したGI推進策

- ◆ ホップでグリーンカーテンをつくり、オリジナルビールを生産
- ◆ 売り上げの一部を守谷市のグリーンインフラ推進に活用
 - ⇒ 話題性のある新特産品
 - ⇒ 市民へのG Iの普及



4. (2) 事業紹介 ⑥ 災害支援対応 【西日本豪雨支援】

四国エリアでの災害状況調査

○徳島県三好市での緊急復旧対応策検討のための現地調査



北九州市での災害復旧支援

○北九州市での九州縦貫道、北九州都市高速道路の啓開、斜面崩壊の復旧支援



5.参考資料 : グループ事業会社の概要

株式会社福山コンサルタント

- ◇創業 : 1949年3月1日 (創業69年)
- ◇資本金 : 400百万円
- ◇業種 : 建設コンサルタント業
- ◇役職員数 : 222名(他契約社員137名)
- ◇有資格者 : 工学博士11名、
技術士192名 (延数) 他

- ◇売上高 業界順位
建設コンサルタント部門計41位
(道路部門6位)
- ◇事業所
5拠点 (福岡・北九州・広島・東京・仙台)
その他25の支店・事務所

株式会社環境防災

- ◇本社 : 徳島県徳島市
- ◇設立 : 1964年8月1日
- ◇資本金 : 90百万円
- ◇役職員数 : 45名(他契約社員16名)
- ◇有資格者 : 技術士・コンクリート
診断士・環境計量士他
- ◇営業エリア : 四国4県
- ◇主力事業
建設分野全般のトータルソリューションを提供
(試験・調査・分析・対策立案等)

株式会社SVI研究所

- ◇本社 : 東京都
- ◇設立 : 2018年7月1日
- ◇資本金 : 10百万円
- ◇役職員数 : 3名
- ◇有資格者 : 工学博士
技術士
- ◇主力事業
社会的価値創造に資する新技術・新事業の創出

福山ビジネスネットワーク 株式会社

- ◇本社 : 福岡市
- ◇設立 : 2016年3月1日
- ◇資本金 : 30百万円
- ◇役職員数 : 72名
- ◇有資格者 : 公認会計士
一級建築士他
- ◇主力事業
CMS、SSC、知財管理
等、企業経営のプラットフォームを提供